

# 第2回定例会 一般質問 区政をただす

## 低所得の高齢者に「思いやり制度」の導入を

自由民主党議員団 山崎 芳夫



長寿医療制度のもと、高齢者世代と現役世代の負担を明確化し、高齢者が一部を負担することは必要であるが、従来の国民健康保険料よりも負担が増える低所得の方もいる。この現状を踏まえ、自由民主党議員団は、「思いやり制度」を新規に導入する要望書を区長へ提出した。区は、この低所得者を対象とした支援策を講じるべきではないか。

医療費負担の軽減が必要である。入院時の負担を軽減する新規事業の実施を考え、本議会に補正予算を提案した。予防医療による医療費削減の見解を問う

インフルエンザが流行すると莫大な医療給付費が必要になるが、予防により医療費が抑制できる。現在の予防接種の自己負担額2200円を大幅に減額し、多くの高齢者に

民間住宅の耐震改修にあたり、SRF工法という簡易な工法を用いると、家具の移動も少なく生存空間の確保や建

予防接種を受けてもらい、予防と医療費削減につながる考えはあるのか。

区長 料金は東京都、東京医師会、特別区の三者で協議し、比較的安価で受けやすい金額で設定した。今後、インフルエンザ予防接種の接種率の向上のため、予防接種の効果の普及啓発や接種勧奨に更に取り組んでいく。



インフルエンザ予防のポスター

## 高齢者差別の後期高齢者医療制度は廃止せよ

日本共産党議員団 若永 しほ子



医療費削減を意図した後期高齢者医療制度は、健康診査、外来、入院、「終末期」のあらゆる段階で安上がりの医療が押し付けられるが、命に直結する医療での差別は許されない。①区民が安心できる医療を進めるため、この制度の中止・廃止を国に求めるべきでは。②保険料滞納による保険証取り上げは、すべきではないのでは。③病院追い出しや延命治療を控えさせることを可能とするのは問題では。

区長 ①医療制度の改革は大きな課題であり、改善すべき点は改善するが、中止や廃止を求める考えはない。②

資格証明書の活用は、法や広域連合の要綱に基づき処理する。③いろいろな議論はあるが、妥当なことと考える。憲法をくらしに生かせ

①「憲法を生かそうくらしに中野のまちに」のローガンを掲げる区長の、9条に対する認識はどうか。②憲法をくらしに生かし、住民の福祉増進を図る具体策として、特定健診の70歳以上と後期高齢者健診は無料化すべきでは。

区長 ①憲法9条1項は戦争放棄の理念であり、堅持すべきである。2項については、主権国家として防衛力を

に中野のまちに」のローガンを掲げる区長の、9条に対する認識はどうか。②憲法をくらしに生かし、住民の福祉増進を図る具体策として、特定健診の70歳以上と後期高齢者健診は無料化すべきでは。

現計画を中止し、少人数学級を前提に、区民参加条例に基づき進めるべきでは。

区長 子宮がん検診は、20歳の区民に個別に通知するなど勧奨に努めている。全国市長会でも、がん対策の充実について国に要望している。

## 高齢者のインフルエンザ予防接種費用を無料化せよ

公明党議員団 平山 英明



区は高齢者に対し、インフルエンザ予防接種費用の約半額を助成しているが、①中野区予防接種法施行細則には、生活保護世帯に対する費用の免除規定がある。高齢者も同細則の免除規定を適用すべきではないか。②多くの高齢者が健康で、実りある生活を送るためには、接種率の向上が必要であり、無料化が効果的ではないか。③無料化に併せて併用することで効果が高まるとされる、肺炎球菌ワクチンの接種体制を整備すべきでは。

区長 ①都、医師会、特別区の三者で協議し、安価で受けやすい金額に設定している。②予防接種率の向上に向け、予防接種の効果の普及啓発にさらに取り組んでいく。費用負担と接種率の相関について検討したい。③肺炎球菌ワクチンの導入については、国の検討の推移を見守りたい。

子どもの視点に立った区立公園の整備を

区長 ①子どもが喜ぶ楽しい公園の整備計画を、10か年計画の改定時に位置付けてはどうか。②公園は地域コミュニティの大切な場であり、子育て世代



平和の森公園の遊具

区立公園の整備を

子どもが喜ぶ楽しい公園の整備計画を、10か年計画の改定時に位置付けてはどうか。②公園は地域コミュニティの大切な場であり、子育て世代

学校再編により、今後新たな補強ができ、安価で実施できる。高齢者世帯だけでも安全確保のため、この補強工事の助成制度を創設できないか。

区長 無料耐震診断や耐震補強設計助成を実施し、耐震改修を促進していく。また、耐震相談窓口で耐震改修の工法を情報提供してきたが、ご指摘の工法も積極的に提供し、負担軽減を図っていく。

区長 ①今後の改修計画にあたっては、特色ある公園となるよう、工夫していきたい。②月1回の日常点検のほか、チェックリストを作成し、年1回の安全点検を実施している。不良箇所については、発見次第修理している。

通学路の安全確保に関する条例の制定を

学校再編により、今後新たな補強ができ、安価で実施できる。高齢者世帯だけでも安全確保のため、この補強工事の助成制度を創設できないか。

## 小中一貫教育を早期に導入せよ

民主クラブ 奥田 けんじ



教育の質を改善するのは、教師や地域人材など人の力であり、質・量・効率を上げる必要がある。打開策の一つに、小・中学校の教員を有効に活用する小中一貫教育が考えられる。区は10か年計画でモデル校の設置を予定しているが、取り組みの状況は。

教育長 現在、中学校に上る際に現れる生活面・学習面の課題解消の観点から、小中連携教育を検討しており、今年度中に結論を明らかにしていきたい。

時代にあったことぶき大学に見直せ

ことぶき大学の目的は、自己実現、地域貢献意欲の醸成、

地域参加の促進であり、民間にはできない誘導目的で、十分に存在価値があると考える。しかし、昭和47年に開始された事業であり、時代の変化を捕えた再設計が必要だ。60歳以上の対象年齢や「ことぶき」の名称は変更してはどうか。また、受講後の地域参加が6割にとどまることから、行政が担い手として期待する場所を案内すべきではないか。

教育長 団塊の世代が参加しやすく、能力・意欲を地域の人的資源として生かせるように、対象年齢や名称を、また、学校支援ボランティアなど活動機会の拡大を、他の部署との連携も視野に入れ、検討している。

見直す考えはない。教育長 ②小中学校全体を適正規模とし、教育環境整備のため、総合的に考慮して策定した計画であり、着実に実現する責任がある。③これまでも、教育に関する施策や課題について区民参加による検討・協議などを実施してきており、今後も、区民意思の適切な反映に努める。

子宮頸がん検診の普及を

中野区議会は、**贈らない 求めない 受け取らない**の虚礼等廃止を決議しています



ことぶき大学